

協働通信

今月は、都留文科大織物振興プロジェクト『Weave(ウィーブ)』を紹介します。Weaveは、都留文科大社会学科の学生を中心としたグループです。

山梨県郡内地方の伝統産業である『郡内織物』に興味を持ち、平成25年9月に社会学科プロジェクト研究により、学内で結成しました。これまでに企業の見学や織物協働組合への訪問などの調査・研究活動を行ってきました。平成27年5月には都留文科大校内にて、『郡内織物ワークショップイベント 織—o—』を開催しました。現在は、研究のみでなくそのPR活動も行いたいと考え、この魅力あふれる郡内織物を都留文科大生を



■当日の会場のようす

▽都留市まちづくり
市民活動支援
センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり
交流センター
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.
tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX(43)1322

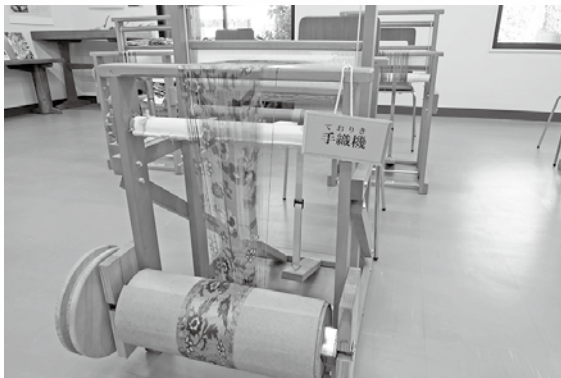
中心にもっと多くの人に知ってもらいたいとの思いから郡内織物手織り体験会を企画しました。地域の人々の力を借りて、1月24日(火)、都留文科大地域交流研究センターにおいて、このイベントが実現しました。

会場には、郡内織物の現状と歴史を知るパネルが展示され、織物研究会による手織り作品が展示されました。参加者は手織り体験会で、谷村織物工業協同組合、大月織物協同組合、大月織物研究会の皆さんの指導のもと、手織り機を使用して織物体験を行いました。好きな色の糸を二種類選んで杼に巻き付けていきます。巻き終わると、いよいよ織っていきます。

みな最初は慣れない作業に悪戦苦闘のようすです。ぎこちなかった手の動きも、慣れるにつれてだんだん手早く織れるようになっていきました。二時間半ほどで、作品を作り上げることができました。「自分の好みに合わせて、自由な発想で織ることができた」と感想を述べられ、楽しんでいらっしゃるようすでした。



■織物研究会による作品展示



■体験会で使用した手織り機

体験会には、学生や地域の方、教職員など100名を超える人たちが訪れました。当日はアンケートに答えていただいた方に、抽選でストールやネクタイなど素敵なプレゼントが用意されました。

来場者には、『見て』『触れて』『体験して』郡内織の魅力を感じてもらえたと思います。

都留文科大織物振興プロジェクト『Weave』は、今後も郡内織物のPR活動を続けていきたいと考えています。色々な方が織物に関わることで、郡内織物を介した多様な取り組み、世代間交流のきっかけになるように取り組んでいきます。



■手織り体験の様子



■完成した織物